

令和4年7月1日

我が国における1型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究 についてのご案内

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。過去の記録をこの研究に使用することを希望されない方については、「問い合わせ先」までご連絡ください。希望しない場合でも何ら不利益を受けることはありません。しかしながら、希望しない旨をご連絡いただいた時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。この研究に関するお問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 我が国における1型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究

【研究代表者】 埼玉医科大学 教授 島田 朗

【当院研究責任者】 KKR高松病院 代謝内分泌内科部長 村尾 敏

【研究の目的】 1型糖尿病は、標準的な治療が定まっておらず、よりよい治療を開発する必要があります。そのためには、患者さんの病状やどのような治療を受けたかなどを詳しく調査する必要があります。

【研究期間】 当院においては、2022年7月1日～2024年3月31日まで行う予定です。

【研究方法】

・対象となる患者さん

19年11月から2019年12月までに当院受診歴がある、1型糖尿病の方

・利用するカルテ情報等

【必須項目】 年齢、性別、BMI、1型糖尿病の病型（劇症、急性発症、緩徐進行）、免疫チェックポイント阻害薬投与歴、発症年齢（緩徐進行は診断時年齢）、発症（もしくは診断）年、インスリン治療期間、発症（もしくは診断時）のHbA1c、現在のHbA1c、膵島関連自己抗体（GAD抗体、IA-2抗体（緩徐進行については、進行予知、病勢評価目的））、内因性インスリン分泌能（C-ペプチド）、ケトーシスの有無、ケトアシドーシスの有無、重症・無自覚低血糖の有無、自己免疫性甲状腺疾患の有無（バセドウ病、橋本病など）、血管合併症の有無（網膜症、腎症、神経障害、大血管症、足病変など）、悪性腫瘍合併の有無、家族歴（1型糖尿病の有無）

治療 インスリン（MDI、CSII）、以下の薬剤の有無（SGLT2阻害薬、ビグアナイド薬、

DPP4 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、 α グルコシダーゼ阻害薬、その他の糖尿病薬)、膵（島）移植の有無、血糖モニターの種類、CGM あるいは iCGM 使用の有無、応用カーボカウント実施の有無、医療費補助

[任意項目] BMI、家族歴（2型糖尿病、その他の糖尿病の有無）、CGM、iCGMなどによる血糖変動指標

[研究に参加する施設] 日本糖尿病学会認定教育施設が参加しています。日本糖尿病学会認定教育施設一覧は、次の日本糖尿病学会のホームページをご参照ください。

URL: <http://www.jds.or.jp/modules/shisetsu/>

このデータを、糖尿病に関連する病気の分析のために用いることがあります。その研究も上記ホームページに記載されます。

[個人情報の取り扱い]

お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を含まないカルテ情報等のみをデータ登録システムに登録します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。当院における対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

[問い合わせ先]

KKR 高松病院 代謝内分泌内科 村尾 敏

電話 087-861-3261(代) FAX 087-834-0199